

## ボツワナ共和国月報(2021年2月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 2020年憲法改正法の運用開始
- 夜間外出禁止令の再々延長

#### 【外政】

- クワペ外務国際協力大臣、第34回AU総会へ参加
- マシシ大統領のナミビア実務訪問

#### 【経済】

- 年間インフレ率の微増
- マツェカ財務経済開発大臣による2021年度予算演説、2021年の成長率を8.8と予測
- ボツワナにおける労働力人口の減少
- 2020年第4四半期における職種別等雇用者数割合
- 2020年第4四半期における雇用者平均賃金
- COVID-19の影響により労働者の約9%が失業
- ボツワナにおける外国人の労働許可証保有者数の増加
- シュンバ・エナジー社、100メガワット太陽光プロジェクトの環境認可を取得
- Tlouエナジー社、ボツワナ初のカーボン・ニュートラルな発電プロジェクトに意欲
- ボツワナにおけるデビアス社のダイヤモンド採掘量減少

#### 【内政】

##### ○2020年憲法改正法の運用開始

5日、離党を困難にする2020年憲法改正法の運用が開始された。野党は、同法案は、与党であるボツワナ民主党(BDP)からの脱党を阻止し、BDPを守るためのものであるとして批判。

##### ○夜間外出禁止令の再々延長

ボツワナ政府は、2月28日までとしていた夜間外出禁止令を3月31日まで延長した。外出禁止時間は、3月1日から31日の間は、午後10時から午前4時の間までとなった。また3月1日より、月曜日から金曜日の午前8時から午後6時までの間、酒類の持ち帰りでの販売を認めると発表した。

## 【外政】

### ○クワペ外務国際協力大臣、第34回AU総会へ参加

クワペ外務国際協力大臣は、テレビ会議方式で開催された第34回AU総会へ参加した。「ク」大臣は8日、ハボロネ市にて開催された記者会見にて、「同総会は、COVID-19を含めたアフリカ大陸の問題に対して、持続的な解決策を見出すため団結する必要がある旨を再確認した」と述べた。

### ○マシシ大統領のナミビア実務訪問

25日、ガインコブ・ナミビア大統領の招待を受け、マシシ大統領は、クワペ外務国際協力大臣及びムズニラ国土・水・衛生サービス大臣とともに、ナミビアのウイントフックを日帰りで実務訪問した。同訪問では、大西洋の海水を淡水化するためのプロジェクトへの協力について意見が交わされた。

## 【経済】

### ○年間インフレ率の微増

ボツワナ統計局のレポートによれば、2021年1月の年間インフレ率は2.3%で、2020年12月の2.2%から0.1%の微増となった。2020年の平均インフレ率は1.9%。前年比の部門別消費者物価指数は、電気料金的大幅値上げがあり、電気・燃料・ガス 20%、郵便 13.6%のプラスとなっているが、ホテル業でマイナス 6.5%、娯楽産業でマイナス 2.3%、運搬業でマイナス 11.2%となっており、全体ではプラスで推移した。

### ○マツェカ財務経済開発大臣による 2021 年度予算演説、2021 年の成長率を 8.8%と予測

1日、マツェカ大臣は、議会で2021年度の予算演説を行い、「昨年とは2020/2021年予算を輸出主導による成長促進、効率的な政府支出と財政の確保、人的資本の構築、適切なインフラの提供という国家の優先事項を実行するといった公約を立てたが、COVID-19のパンデミックの経済への負の影響を軽減するため迅速に対応した結果、財政的な余力が枯渇したため再構築する必要がある。他方、2021年における国内経済の見通しは明るく、ボツワナの成長率は8.8%と予測されている。また、政府収入を増加させるため、4月1日から付加価値税(VAT)を12%から14%へ、ガソリン等の燃料税を1リットルあたり1プラ増税する」と述べた。

#### ○ボツワナにおける労働力人口の減少

2020年第4四半期の15歳以上労働力人口は972,609人(労働参加率は60%)、労働者数が733,875人(男女比は各約50%)、失業者数が238,734人(第1四半期比で12,136名増加、1年以上の求職者率は61.7%)、失業率が24.5%であった。若年者(15-35歳)失業者率は32.4%。ニート(教育を受けていない、就職していない、訓練を受けていない若者)率は37.5%。地域別労働者数は、首都ハボロネで106,100人、首都近郊の東クウェネン地区で107,388人、フランシスタウン(中部都市)で42,213人。

#### ○2020年第4四半期における職種別等雇用者数割合

2020年第4四半期における職種別雇用者数割合は、貿易業(自動車・バイクを除く)20.1%、行政・国防18.1%、教育10.0%、農業8.2%、建設業7.2%、製造業6.7%、鉱業・鉱山1.1%であった。全労働者数のうち公的部門30.8%(雇用対策一時雇用は7.4%)、民間雇用34.2%、自営業等35%であった。

#### ○2020年第4四半期における雇用者平均賃金

2020年第4四半期における雇用者平均賃金月額は4,997プラ(約4万5千円(1プラ約9.5円))。主な職種別(2020年第1四半期)では、不動産22,940プラ、鉱業・鉱山14,074プラ、電気・ガス12,697プラ、情報通信11,524プラ、自動車修理。小売り3,092プラ、農業2,398プラ、家政婦業1,421プラ等。

#### ○COVID-19の影響による失業者数

第4四半期の労働力調査によると、COVID-19の影響により失業した人数は、67,132人(労働者の約9%)、給与・仕事に影響がなかったと答えた割合53.0%。

#### ○ボツワナにおける外国人の労働許可証保有者数の増加

ボツワナにおける外国人の労働許可証保有者数は2020年第2四半期(2020年3月から2020年6月の間)に4,321人から7.4%増加し、4,640人となった。主な部門は農業26.1%、教育16.4%、建設12.4%、製造業8.8%、ヘルス7.0%。国別では、ジンバブエ47.7%、南アフリカ14.0%、インド8.7%、中国5.9%

#### ○シュンバ・エナジー社、100メガワット太陽光プロジェクトの環境認可を取得

ボツワナ株式市場上場会社である、シュンバ・エナジー社は、フランシスタウン近郊に100メガワットの太陽光プラントを建設するための環境認可を取得した。現在300ヘクタールの土地に、第一フェーズとして50メガワットの太陽光ファームを建設中。

○Tlou エナジー社、ボツワナ初のカーボン・ニュートラルな発電プロジェクトに意欲

今週(15日から20日の週)、Tlou エナジー社は、レセディ電カプロジェクトを、ボツワナ初のカーボンニュートラルな発電プロジェクトとする意向を明らかにした。同社は、よりクリーンな発電に重点を当て、ボツワナ国内及びその近隣諸国に対する電力供給を目指している。